

# 茨城支部第50回定期大会

# 国労水戸

## 要求の前進に向けて

茨城支部第50回定期大会は11月5日、自治労会館で開催し、水戸地区分会の鈴木代議員が議長に選出され、向こう一年間の運動方針が確立した。

当日、益子委員長は病欠により辻副委員長が代表して、春闘、労働条件改善、組織強化拡大、憲法改正、安全安定輸送について挨拶があった。来賓で八田さんより退職者の会の加入のお願い、塚原地本委員長より原発問題、TPPの強行採決、年末手

国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
ENYビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 塚原良雄  
編集責任者 坂下 司



当、組織拡大について班・分会の中で出来る人がやっ  
て行く事と挨拶があった。  
各代議員から、エルダー  
制度の問題。退職後のあり  
方。組織拡大について、国

つなげよう  
技術（たぎやう）と  
魂（たましい）と  
運動を

労に入れと率直に言える、リストアップを。組織がなくなる意識を。技術継承の問題について発言が出された。

書記長集約、ストライキ権の確立、大会宣言、団結がんばろうで閉会した。

## JESSS 未経験者交流会

10月25日、地本会議室において第1回JESSS未経験者交流会を16名が参加し開催してきた。駅業務を初めて経験する方の不安解消を目的に、すでにエルダーで駅業務に携わっている組合員との交流を深め、JESSS会社の現状について交流を行った。

初めに業務委託されている常陸大宮駅から、一日の業務の流れを報告し、駅業務は3年目になるが未だに完璧ではない。佐和駅は作業ダイヤを基

に報告し業務の取り扱いを忘れないようにカードを作っている。今は休憩が取れるようになった。東海駅から、JESSS内の労組の状況、JRとの労

働条件の違い、プロパー社員の教育不足、エルダー社員が教育している現状の報告を受けた。  
駅業務を初めて経験することになる車掌・輸送係の方からは、見習いの期間は何の位かとの質問に、8回の見習いで1本、6回の職場もある。何を聞いて良いのか分からないので20回、30回はやってもらいたいという意見が出された。  
また、いわきの乗務員は掃除とJESSSしかないの  
で車掌をやっている人はJESSSでがんばろうという意見もあった。

## 2016年度年末手当について申し入れる

基準内賃金×  
**3.5** 箇月

第1回交渉 (11月4日)

要求趣旨説明

第2回交渉 (11月8日)

会社からの現状認識

会社から

スケジュール感を持ちつつ、真摯かつ精力的に議論を進めていきたい。